

回 覧

花巻市青少年郷土芸能

フェスティバル2019



七頭舞



百姓踊り



さんさ踊り



神楽



百姓踊り

令和元年

11月17日 日

12時開演 (11時開場)

花巻市文化会館 大ホール
(花巻市若葉町三丁目16-22 Tel.24-6511)

入場無料

◇出演団体◇

- 太田保育園(太田)
- 遊子神楽(宮野目)
- 普代中学校七頭舞同好会(普代村)
- 八木巻神楽(大迫町)
- 矢次さんさ踊り(矢巾町)
- 立石子供百姓踊り(東和町)
- 円万寺田植踊り(湯口)
- 石鳩岡神楽少年団(東和町)
- 雫石高校郷土芸能委員会(雫石町)

主催／花巻市教育委員会・花巻市郷土芸能保存協議会

【お問い合わせ】 花巻市教育委員会 文化財課 Tel.45-1311

花巻市青少年郷土芸能フェスティバル2019

出 演 団 体

(出演順)

1. 太田保育園 (太田)

演目「こども百姓踊り」

「こども百姓踊り」は昭和61年、当時の職員が市内に伝わる百姓踊りを幼児向けにアレンジして踊り始めました。この踊りは、春の種蒔きから秋の収穫、庭払いまでの一連の様子を表現しています。

本日は5歳児11名、4歳児3名、3歳児10名で五穀豊穡と、皆様の健康を願って踊ります。

2. 遊子神楽 (宮野目)

演目「三番叟」

遊子神楽は、大正元年(1912)金矢神楽より権現舞を習得し、活動を続けてきました。平成25年より、胡四王神楽の弟子神楽として伝承活動を行っています。

「三番叟」は、式舞の三番目に舞われ、蛭子命(ひるこのみこと)が世の喜怒哀楽、艱難辛苦の様子を舞ったものといわれています。

3. 普代中学校七頭舞同好会 (普代村)

演目「中野流鶴鳥七頭舞」

中野流鶴鳥七頭舞は、普代中学校の伝承活動として、岩泉町小本の中野地区に伝わる中野七頭舞を基に発足した郷土芸能です。今年度は16名で活動しています。

踊りは、「道具取り」、「横跳ね」、「チラシ」、「戦い」、「ツットウツウ」、「三足ふみ」、「道具納め」という7つの踊りから構成されています。また、踊り手が持つ道具も7種類あり、「七頭舞」の語源といわれています。

学習や部活動と両立させながら伝統を引き継ごうと、一生懸命に練習してきた普代中七頭舞の踊りをどうぞご覧ください。

4. 八木巻神楽 (大迫町)

演目「鞍馬舞」

永禄7年(1564)が八木巻神楽の始まりと伝えられていますが、寛永19年(1642)の大飢饉で途絶え、昭和7年に旭の又神楽の指導によって復興され、現在に至っています。

「鞍馬舞」は、京都の鞍馬寺で、日本の天狗たちから剣術の手ほどきを受けた「牛若丸」のところへ、唐の天狗の首領「善界坊」が兵法比べにやって来ます。秘術をつくして戦う牛若丸に、善界坊は降参して唐に逃げ帰るという舞です。

5. 矢次さんさ踊り (矢巾町)

演目「庭慣らし・隅付け・田植え駒崩し・七夕崩し・鶴の舞崩し・雀追い・陣功踊り・御礼踊り」

矢巾町上矢次地区に伝わる「矢次白山神社流矢次さん

さ踊り」は、例大祭(9月5日)の宵宮で踊り伝えられているさんさ踊りです。由来は定かではありませんが、隣接する「南矢幅さんさ踊り」の影響を受けているといわれ、70年ほど前からこの形で踊られています。

本日は小学校低学年を中心に踊りを構成しました。

「一八」は、小学4年生2名と6年生1名の3名が務めます。ご声援よろしくお願いします。

6. 立石子供百姓踊り (東和町)

演目「立石子供百姓踊り」

「立石百姓踊り」は、昭和の初めに農家の人々が、地元に鎮座する立石稻荷神社の例大祭に五穀豊穡を祈願する神事として奉納したのが始まりです。

郷土色豊かな太鼓と笛のリズムに乗せて、昔ながらの田打ち、田植え、苗投げ、脱穀など米作りの様子をユーモラスに表現しています。現在は、立石地区子供会22名で活動しています。

7. 円万寺田植踊り (湯口)

演目「子供手踊り」

旧暦1月15日の小正月を中心に豊作祈願の行事として行われる「円万寺田植踊り」は、紫波郡に伝わる田植踊りの流れをくむもので、室内で演じる「座敷田植踊り」の形式で演じられます。大正10年に下似内から伝えられましたが一時途絶え、昭和61年に復活しました。平成13年に保存会を結成し、平成15年から地元の湯口小学校の伝承芸能として子どもたちに踊り継がれています。

8. 石鳩岡神楽少年団 (東和町)

演目「鶏舞・三番叟」

石鳩岡神楽は、早池峰岳流山伏神楽に属し、文化2年(1805)に岳神楽の伝授を受け、天保5年(1834)に正式に独立を許され現在に至っています。

「鶏舞」は、素面、着物姿の舞手が、扇や鈴木を持って舞います。夫婦和合、子孫繁栄の舞といわれています。

9. 雫石高校郷土芸能委員会 (雫石町)

演目「上駒木野さんさ踊り」

雫石高校郷土芸能委員会は3年生3名、2年生9名、1年生7名の計19名で活動しています。今年度は、佐賀県武雄市で行われた全国大会に6年ぶり9回目の出場を果たしました。

「上駒木野さんさ踊り」は、赤い蓮の花をかぶり、七色の腰帯が揺れるように腰を入れて踊るのが特徴です。雫石の郷土芸能の素晴らしさを届けられるよう心を込めて演舞します。